



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長 / 鈴木 清詞 ■幹事 / 坂本 晃 ■会報・雑誌・広報委員長 / 江松 央統
 ■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

第1169回

2016年3月1日(火) 晴 第29回

～水と衛生月間(3/13を含む1週間 世界ローターアクト週間)～

斉唱 君が代、それでこそロータリー
 出席 会員56名(出席率算入人数41名)
 出席30名 出席率73.17%
 前々回補填率86.96%(2月9日分)
 ビジター 奈良大宮 RC 大塩 栄作さん

3月の誕生日

5日 三浦 隆さん 6日 鈴木 一博さん
 12日 加藤 宜之さん 17日 朝比美和子さん
 19日 久米 伸治さん 25日 水野 俊男さん
 26日 入谷 直行さん

配偶者誕生日

5日 朝比 久雄さん 10日 三浦 光子さん
 25日 入谷由紀子さん 29日 佐々木淳子さん

3月の結婚記念日

5日 江松 央統さん 11日 坂田 信子さん
 13日 細井 俊男さん 20日 三浦 隆さん
 20日 小野 雅之さん 28日 杉山 隆秀さん

副会長あいさつ

副会長 有川 英敏さん

皆さま、こんばんは。本日はビジターとして、遠く奈良大宮RCから大塩栄作様にお越しいただきました。ごゆっくりご歓談ください。

本日は少し趣向を変えまして、現在は超低金利時代に突入しました。その時代と、私の本職が不動産でありますので、それを結びつけたところでお話をさせていただきたいと思います。

超低金利時代というのは、例えば100万円を銀行に普通預金で1年間預けると、これからは0.001%ですから、金利が100万円では10円です。1億円を預けても金利は1,000円です。これではいけないと思って2～5年物の定期預金にすると、約25倍になります。100万円では1年の金利が約250円、1億円で約25,000円という事になります。

最近のニュースによりますと、一般の方がお金を



銀行に置いて、コンビニエンスストアやATMなどから引き出すと手数料を取られるので、個人のマイナス金利時代となってしまいます。これではかなわないので、いわゆるタンス預金が増えたそうです。タンス預金が増えたという事は、自分の手元に現金を置いて、そこで引き出せば簡単で手数料も取られないという事です。

そのどこが不動産と繋がりがいいのかという事ですが、不動産業界はだいたい法人で日本全国に100,000社、個人ではだいたい20,000社で、大小合わせて120,000社あります。その全国トップはどこかというと三菱地所です。2位は三井不動産、3位は住友不動産でやはり財閥系です。

皆さまよくご存知のイオンモールがありますが、ここはだいたい14～15番手についております。このようにお話しすると、たまにイオンモールは商業か小売業ではないのかと言われますが、株をやっている方はよくご存知だと思いますが、株の一覧表を見るとイオンモールは不動産業の中に入っております。建物は全てイオンモールですが、全てテナントに貸しておりますので本職は賃貸業でございます。

先程申し上げた金利がなかなか付かない、投資をしたいけれども株は最近乱降下して怖いのでどうしたらよいのか。それで最近ではなく、実は10年程前から不動産へ投資される一般の方が非常に多く、企業の方も多いです。

どんな投資かと言うと、まず個人の方がコーポやマンションを新築されます。これは投資プラス相続税対策です。しかし最近ではコーポやマンションの1棟売りをそのまま購入して不動産投資をする。これは先程申し上げた0.001%という世界ではなく、不動産投資の場合はマンション経営をしますと、だいたい年間4%から良い時には8%位の利回りがついてくるわけです。または個人の方で、マンションを1棟まるごと購入するのではなく、違うところで1室1室購入し、それぞれ賃貸で結構収益を上げている方もいらっしゃいます。

どれだけ不動産投資が魅力的なのか、たまたま昨日入っていたチラシをもってきたのですが、「どこよりも収益物件を買わせてください。即日回答します。1棟マンション、アパート、ビル。エリアは全国。利回り8%以上。築年数問わず。1千万円から5億円まで買います。」こんなチラシがしょっちゅう不動産屋に来ます。名古屋名南RCは3軒も不動産屋がありますので、聞いていただければ良いと思います。不動産の投資はおいしいのではないかと、私達は紹介するだけですが思います。

また、中国の方の日本への投資も多くなっており
ます。自分の国の仲間を購入したマンションに入居
させ収益を上げています。超低金利時代から不動産
投資への流れが繋がってくるかと思ひます。もし
興味のある方はご紹介したいと思ひますので、宜し
くお願い致します。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 坂本 晃さん

1. 来週3月8日(火)はローターアクトと合同例会が
あります。場所はラシック8階の「麻布ダノイ」
というレストランです。時間が遅く19:00からで
すので宜しくお願い致します。

ニコボックス

- ◆ 児島さんの卓話を楽しみにしております。

加藤 英敏さん 高橋 司さん 坂田 信子さん
細井 俊男さん 田中 一雄さん 三浦 和人さん
犬飼りさ枝さん 坂本 晃さん 川辺 清次さん
三島多恵子さん 川瀬 悟さん 入谷 直行さん
有川 英敏さん 長尾 浅吉さん 猪村 美之さん
江松 央統さん 中村 勝さん 安藤 修さん
新原 尚さん 牧野 好弘さん 木下 福郎さん

- ◆ 創立25周年記念式典無事終了しました。皆様の絶大
な支援有難うございました。 山本 郁矢さん
- ◆ 本日卓話させて頂きます。ロータリーの本質と、
それをどうとらえ、活かすか、自分なりの考えを
述べたいと思ひます。うまく話せるかどうか分か
りませんが、ロータリアンの友情に免じてお聞き
下さい。 児島 徳和さん
- ◆ 名古屋商工会議所創立50周年記念式典、無事終了
いたしました。 日下智重子さん
本日合計 25,000円 累計 734,000円

アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

会員卓話

- ロータリーとは?ロータリーの精神をどうとらえ
るか? 児島 徳和さん

皆さま、こんばんは。卓話の内容
についてですが、昨年の夏に
ロータリーの研修セミナーを受け
ました。これは今年度のガバナー
方針で、従来は会長エレクトが受
けるべき研修なのですが、違う人
にもという事で私が行って参りま
した。



そのご報告方々、実はここ2~3年の間に新入会員
の方に多数入っていただきました。やはり自分の経
験でもそうなのですが、最初はとりあえず例会に出
席すればいいかという感じでした。どうも来てもよ
く分からないので、紹介者の方に少しずつ聞きなが
ら自分でもクラブ計画書を空いた時間で読んだりし
たのですが、ずっとロータリーとは何なのだろうと
いうのが心の中にありました。

それは今でも思っております。本日はそんな意味
で、チャーターメンバーをはじめ、大先輩がいらっ
しゃる中でこういう崇高なる話をするのは大変緊張
しておりますが、新しく入った方がロータリーとは
何?という次元でお話をさせていただきたいと思ひ
ますので、そんな風に聞いていただけたら助かります。

タイトルとしては、「ロータリーとは?ロータ
リーの精神をどうとらえるか?」です。皆さま大概
の方が事業をされていて経営者だと思ひます。やは
り経営ですと、経済活動ですから当然利益を求めて
事業をされているのですが、その延長線上で何か
をする時に、これをやって何になるのだろうと分か
ればやられると思ひます。それでロータリーも同じ
く、ロータリーに入って何になるのかと。例えば新
入会員・会員増強と言っており、私も色んな仲間や
友人・知人に声を掛けますが、極端な方は「何の得
があるのか」と言われる時もありますし、「ロータ
リーって何?」とシンプルなものや他にも色んな質
問が出てきます。自分なりにお答えしますが、やは
りまだ自分の中でもはっきりしたものと言えるよう
な状況でもないと思っております。

本日はテーブルの上に4つの資料を配らせていた
だきました。一枚目はロータリーの組織というもの
をご存じない方も入会後間もない方もいらっしゃ
るかと思ひますので、簡単に説明させていただきます。
日本のロータリーは全部で34の地区に分かれて
います。各地区にガバナーがいらっしゃいます。
たまたま愛知県だけは単独県で2760地区となっ
ておりますが、2630地区というのは岐阜県と三重
県で1つのゾーンとなっております。

ですから岐阜県と三重県でガバナーが1人で、地
区大会は岐阜県と三重県で交互にやっております。
そういう意味では愛知県は単独でやっているの
で有り難いのですが、三河地区の方から言わせれば、例
えば去年は奥三河RCがなくなりましたが、2時間半
かけて地区大会の会場であるウェスティンナゴヤ
キャッスルまで来るといのはどうなのかと、メー
キャップでお邪魔した際に言われました。確かにそ
うだなと思ひます。

愛知県2760地区で言いますと、8つの分区に分
かれています。各分区にはガバナーを補佐するガバ
ナー補佐という方がいらっしゃいます。この中で
我々は西名古屋分区という所に所属しております。
現在、西名古屋分区は13クラブございますので、13
年に1回ガバナー補佐の役割が回ってきます。直近
で申し上げますと三浦和人さんがガバナー補佐をや
られましたが、3年位前になるので、予定で行けば
10年後に当クラブからガバナー補佐を出す事になり
ます。

それからもう一枚の資料で、表面がいわゆるクラ
ブ計画書に載っておりますクラブの組織図です。構
成委員が載っておりますが、その裏面を見ていただ
きました。この組織図を分かりやすく作らせていた
だきました。理事会の下にロータリーでは5大奉仕
と言っております5つの委員会と、理事会から直結
する会計及び会計監査、会場監督、会長エレクト、
研修リーダーシップ・会員選考委員会、会員増強・職
業分類委員会というのがあります。

自分自身もそうだったので、皆さま意外と誤
解されているのが、実はクラブ奉仕委員会の下に会
報雑誌・広報委員会、会場運営・プログラム委員会、

出席ニコボックス委員会、親睦活動・家族委員会の4つが含まれておりますので、クラブ奉仕委員会というのは結構重要な構成であるという事を頭に入れておいていただけたらと思います。その他、国際奉仕委員会の下に米山記念奨学委員会とロータリー財団委員会がありますし、社会奉仕委員会の下には環境保全・保健問題委員会が、青少年奉仕委員会の下にはローターアクト委員会があるという組織体系になっております。

実は今回お配りした資料のものは、昨年私が8月に出席しましたロータリー研修テキストからコピーをさせていただきます。当地区には名古屋港RCの関口さんと成田さんという非常にロータリーの真髄を究めておられる方がいらっしやいまして、その方々が中心となってこれを作られています。非常に分かりやすくなっていますので、その時の資料を今回コピーさせていただきます。最初はロータリーの目的、それから本文がありまして、第1から第4まであります。そして四つのテスト、それからロータリー標語となっております。

最初にロータリーの目的という部分で本文があります。皆さまおそらく1回位は読まれたと思いますが、非常に分かりづらいです。研修において中央大学の小堀憲助先生に分かりやすく訳していただきましたものが載っておりますが、「ロータリーとは、企業の根底に奉仕を置くべしとする理念を提唱することを目的とするクラブ活動の事である」と言われると、とても分かりやすいです。本文にありますロータリーの目的は、「意義有る事業の基礎として、奉仕の理念を奨励しこれを育む事にある」という、分かりにくい文面になってしまっていて、やはりロータリーに精通した方に訳していただくと、分かってくるようになるのかと思います。

ロータリーに必ず出て来る言葉に利己と利他があります。利己とは自分の為という事です。それに対して利他とは人の為という事です。資料の解説に載っておりますのは、例えば皆さま事業者でしたら会社の経営は利潤あくまでも儲けを目的として活動しているわけです。ではロータリーが提唱する奉仕という世界に置くと、企業が利己とすればロータリーの奉仕というのは他人に対してする利他に当たります。それを調和させる事であると本文の中で言っているようです。

それからもう一つ大事なポイントで、所謂企業活動で儲ける事がいけない事なのか。あくまで利益の中で社員の方に給料を支払う事ができ、またその利益を株主の方に配当する事も出来るわけですが、ロータリーの言う利己と利他の調和という利己の部分で、儲けた金額ではなく儲ける方法、儲け方を問題にしているのが、ロータリーの根幹の精神です。それが職業倫理に繋がっていきます。

本文に続きまして、ロータリーの目的が第1から第4まであります。第1については、まずクラブ内での奉仕活動をする心を作る親睦を目的としています。それが「心の友を得て、もっと奉仕の契機となすべきこと」という表現になっています。ここに解説が載っておりまして、ただ単に飲食をしてゴルフを共にするのは誰にでも出来る事であり、それは感性的親睦であると位置づけられています。それに対してロータリーが求める部分は、精神的親睦であ

ります。例会で自分の至らない所を他のロータリアン、メンバーから一挙手一投足を学ぶ場であり、自己研鑽、切磋琢磨して、それが結果的に親睦に繋がっていくという目的を表しています。

次に目的の第2として親睦の実質的な内容としては奉仕の心を作る親睦の規定で、その中で「自己の職業を持って天職と心得るべき」と書いてあります。これでも少し分かりづらいので解説を見ると、「職業に貴賤なしとの自覚を深めるべき事」とあります。職業上の高い倫理基準、倫理という部分がロータリーの中では非常に重く、中心中核となっていく。これが職業奉仕、同じ奉仕の中でもベースとして職業をする上での奉仕活動という部分で職業倫理、それが職業奉仕であると書いてあります。

第3・第4については奉仕の実践という事で、外での実際の活動の場と捉えていただければいいと思います。「一人一人のロータリアンが、事業生活及び社会生活に奉仕の心を具体的な行動として実践しなければならない」。ロータリーは個人奉仕でして、ご存知のようにライオンズは団体奉仕です。決定的な違いはこの部分にあります。ではその範囲ですが、「地域社会生活に適用する社会奉仕、国際社会生活に適用する国際奉仕、事業に適用する職業奉仕」と定義づけられています。

第4の部分としては、ロータリーの奉仕活動の世界の終着点という意味合いで、「人類平等の思想を広め、それをもって戦争の再発を阻止し、人類の平和と繁栄に寄与する考え」という崇高なる高い次元の事をロータリーの目的に据えております。

これをもう少しまとめますと、ロータリーの目的と五大奉仕というのは、先程申したようにクラブの中は親睦を広めながら奉仕の心を作る。外に関しては親睦によって作られた奉仕の心を各自日頃の行動の中で実践する。それで「奉仕の2分類法」と言われる「親睦と奉仕」が、そのような意味合いで成り立っているとご理解いただけると有り難いです。そして必ず次に出て来るのが、「入りて学びて 出でて奉仕せよ」です。

続きましては「四つのテスト」です。資料の中に出て来るのが、四つのテストというのは四つの道ではなく十字路であり、四つが重なるという事です。「まごころ」と「公明正大」を分かりやすく説明しただけと言われております。合わせて四つのテストはロータリアンのベースである職業奉仕の職業倫理を説明する、仕事をする上での大事な言行指針です。

続きまして、ロータリーの標語（モットー）とあります。これも今回改めて勉強したのですが、なかなか分かりづらい部分があります。これに関しては、1911年の全米ロータリークラブ連合会で2人の方が提唱されて、それをロータリーの標語として採用されています。

一人は、必ずロータリーでは出て来るアーサー・F・シュルドンは、「実業倫理の概念」を提唱されています。もう一人はベンジャミン・F・コリンズが「Service, Not Self.」と宗教的な思想の中で仰って、第一標語として「Service Above Self. 超我の奉仕」、利己と利他がある中で、利己の上に利他を置く-優先させる-というロータリアンとしての心の状態を求める事が目的であります。第二標語として、「One Profits Most Who Serve Best. 最も多く奉仕

第 1171 回例会 (3月15日) のご案内

会員卓話

する者、最も多く報いられる」とあります。標語と言っても、どうも私の中には入ってこないのが、最後に私の考えを述べさせていただきます。

ロータリークラブというのはアメリカで発祥して伝わってきました。やはりアメリカというのはキリスト教が主の国です。それをそのまま日本に持ってきた場合、日本は神道がベースとしてあるのに仏教もありと、東洋の果ての何でも受け入れる柔軟な思想の持ち主の国民であるので、キリスト教を否定はしないのですが表現や行動、習慣がなんだか自分の中ではそぐわない感じがします。例会が週1回というのも、キリスト教だと日曜日に教会へ礼拝に行くのと同じような感覚なのかと個人的には思っております。

最後にロータリーの目的と標語をどうとらえるかですが、ロータリーの目的はやはり職業奉仕が大前提にあります。これに近い感覚で、日本には近江商人の教えで売り手よし、買い手よし、世間よしという「三方よし」があります。これは職業倫理で職業人としてやる上で、やはりフェアであり、公正に取引をするという事なのですが、日本の場合は更にそれがもっと幅広いような感じを個人的には受けています。この感覚で行くと、私はロータリーの目的とする職業奉仕というのは、非常に納得がいくと思えました。

またロータリーの標語なのですが、このロータリーの教えを頭で分かったとしてそれが何になるのかと自分自身に問いかけた時に、やはり冒頭にお話ししましたそれをやって何になるのか、これを実践して何になるのかという事がないと、おそらく実践もしないだろうと思っております。

それで日本には古くから大陸との繋がりが多くありますので、儒教や宗教の教えがあります。その中の易教にある「積善のある家は必ず余慶あり」というのがあります。積善というのは善を積んでいる、余慶ありというのは喜び事がたくさんあるという意味です。やはりこれは徳積みの中でも陰徳積みの方で、徳積みには一般的に陽徳積みという名前を出して良い事をする事と、もう一つは名前を出さない徳積みがあり、これが陰徳積みと言われます。実は陽徳積みを行い、そこで褒められてしまうと他に余慶がないのです。それに対して陰徳積みの場合は、名前を出さないで徳が溜まり、この徳分は二乗もしくは三乗の法則で徳を積んだ以上に還ってくるものがあります。

これは私が実際に教えられて20数年実践してきて体験もしておりますが、その通りだと思います。

「超我の奉仕」の心で実践すれば「最も多く奉仕する者、最も報いられる」これがロータリー流の人生王道の生き方の表現ではないかと思えます。

スピリットの部分はおそらくロータリーの精神や目的、標語や四つのテストなども十分にお分かりだとは思いますが。しかし私の場合は日本人ですので、培ったものの中で自分なりに捉える、そういう意味ではまだまだ本当のロータリアンではないかもしれません。少しずつ実践の中で活かし、また良い結果をいただけたらと思い、今回のお話とさせていただきます。ご拝聴いただきまして、ありがとうございました。